

学 校 生 活 で 身 近 に お こ る

依 存 症 を 考 え る

生きづらさへの理解のネットワークを広げる

学校で可能な依存症の対応

学校で可能な依存症の対応

予防（居場所）

- 対話・コミュニケーション等、人間関係スキルを学ぶ
- 依存状態に陥らないよう「つながり」をつくる
- 学内での居場所をつくる。

保護者との協力

- 本人が登場しない/できない場合が多いため、「困っている」人を対象とする。
- 「対立」しがちな問題であることを理解して、協力体制を意識する。

専門家との連携

- 担任が抱えるのではなく、教職員、SC、SSWとの連携を意識する。
- 理解のネットワークを広げて、その中での役割を担う。

依存状態に陥らないような人間関係の予防・啓発を実施する

担任が抱えるのではなく、教職員・保護者・専門家との連携を意識する



理解のネットワークを広げ、学校の役割を担う

依存症とはどのような病か

・物質依存・行為依存・人間関係依存

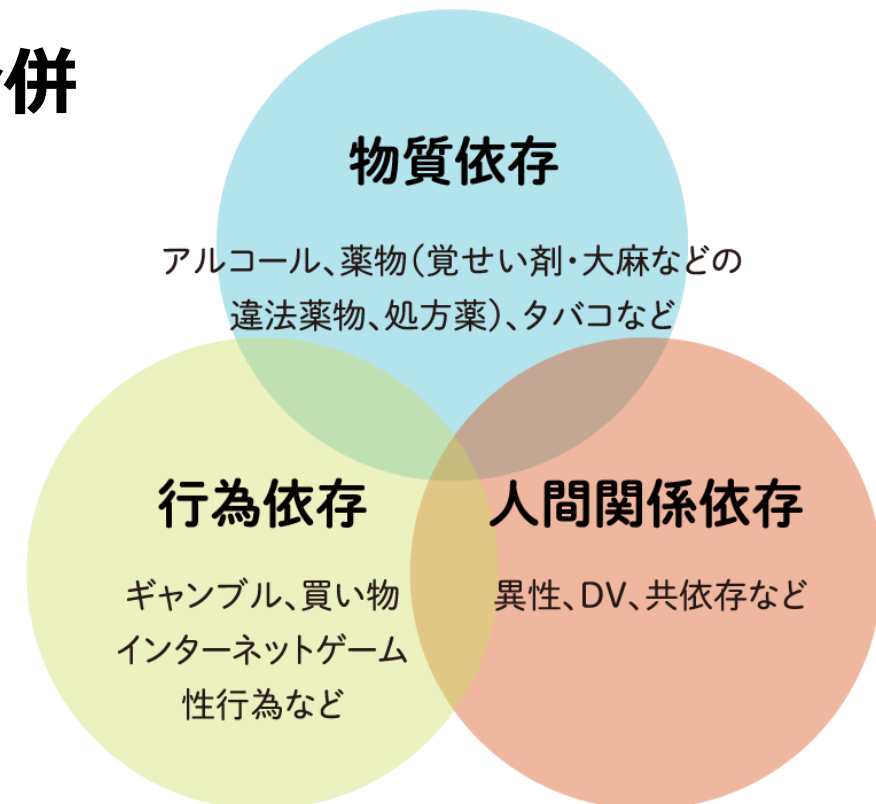
– アルコール・薬物（違法薬物、処方薬、市販薬）・ギャンブル、**ゲーム・ネット**、買い物、窃盗症、**自傷**、**摂食障害**等

・うつや不眠などの精神的な問題や発達障害の合併

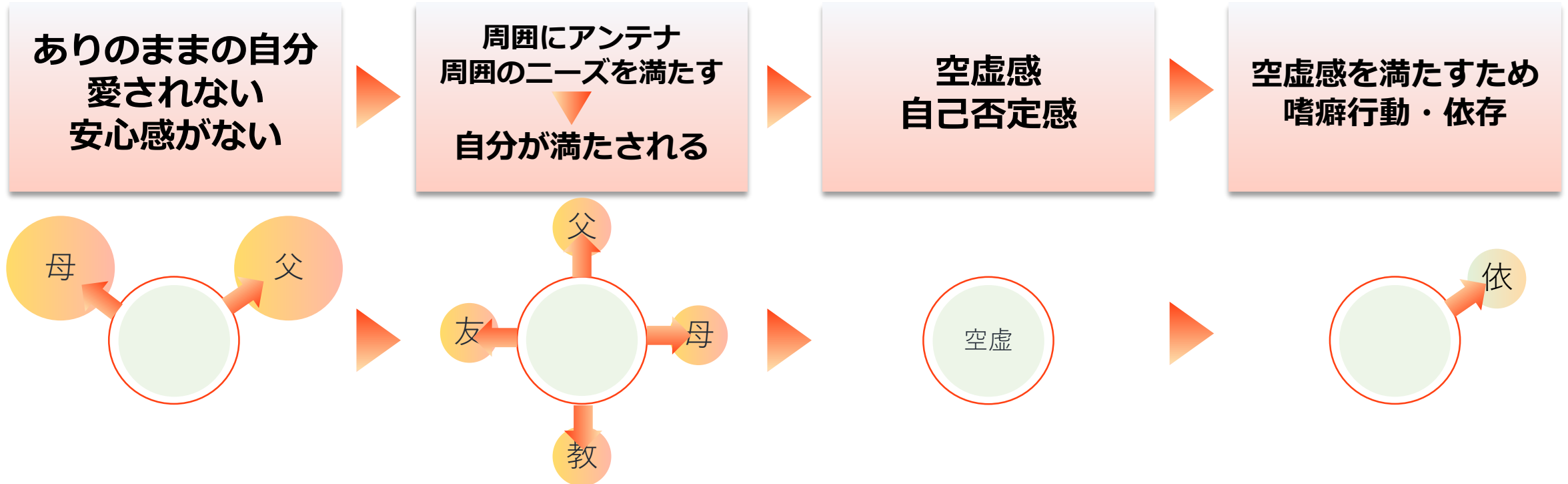
・アディクション問題によるDVや虐待の問題

- ・アルコール依存症を親にもつ子どもの問題
- ・自殺の問題、物質使用障害による事件
- ・事故など司法がからむ問題
- ・ギャンブルの借金問題、ゲーム課金、虐待、万引きなど

・ **生きづらさの問題**



なぜ依存症になるのか？ - 依存症が形成される過程



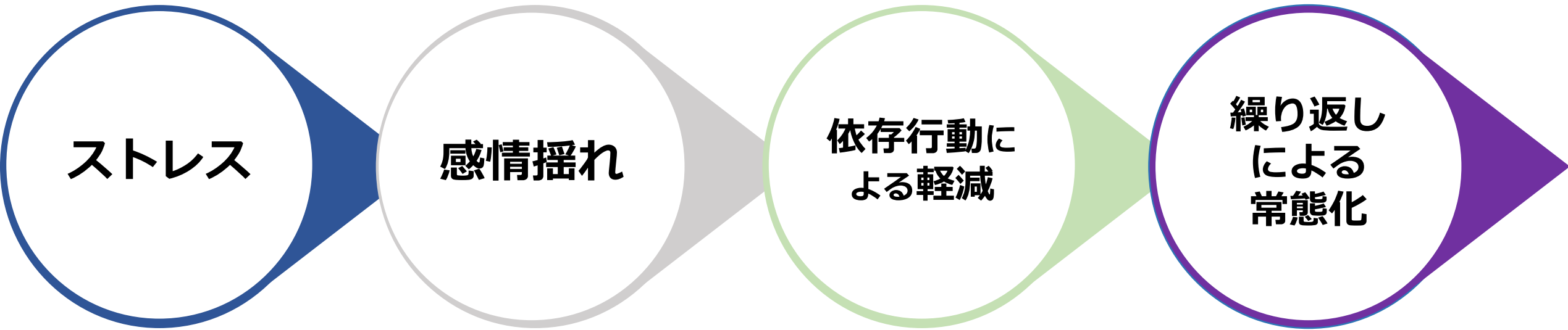
**「自分らしさ」を否定して、「自分」がわからなくなる
こころの中でくすぶる「生きづらさ」**

(参考文献)

小林桜児『人を信じられない病-信頼障害としてのアディクション』日本評論社

水澤都加佐『あなたのためなら死んでもいいわ：自分を見失う病「共依存」』春秋社

ストレスを解消するための依存行動 – 自己治療仮説



生きづらさを支えるために必要となる対象

ゲーム・ネット、自傷、摂食障害 等

(参考文献)

E.J.カンツィアン『人はなぜ依存症になるのか – 自己治療としてのアディクション』星和書店

依存症をどのように理解するか？ - 生きづらさの根を見る



アセスメントのポイント

目に見える症状は何か？（葉）

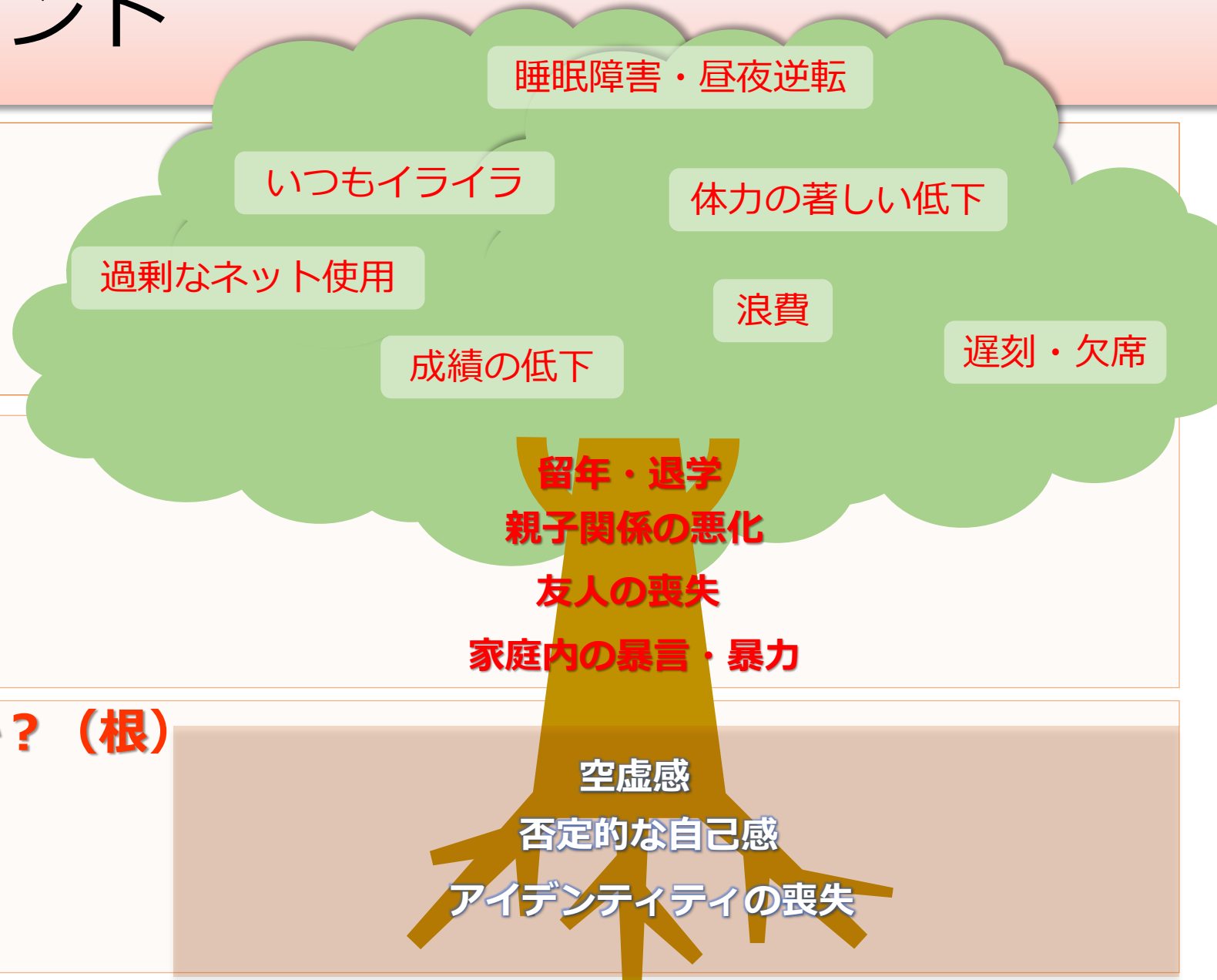
- ・ 成績が低下する
- ・ 遅刻・欠席が目立つ
- ・ 睡眠障害・昼夜逆転

関連問題は何か？（幹）

- ・ 親子関係の悪化
- ・ 友人がいなくなる
- ・ 留年・退学の可能性が大きくなる

本人の抱える生きづらさは何か？（根）

- ・ 期待に応えられないふがいなさ
- ・ 「自分らしさ」がわからない
- ・ 友人との「つながり」が作れない



依存状態から依存分散状態へ 回復のイメージ



依存先が少ない状態



依存先がたくさんある状態

依存先を減らすのではなく、依存先を増やすという考え

なぜ責めたくなるのか？—感情の悪循環— —自分を原因としない「否認」という問題

本人の問題

母の問題

否認

- 成績が下がると父が不機嫌
- 母はいろいろ口をだしてくる
- ゲームをやめろとうるさい
- 家にも家庭にも居場所がない。
- 母だって父に何もいえない



空虚

否認

感情の悪循環

問題の転嫁

問題



罪悪感

- 夫からは自分の対応が原因と言われる。
- 自分も育て方が悪かったと思う。
- 本人が何を考えているかわからない。
- 暴言がひどくて怖い

不安全感

- 不登校の原因は、保護者が甘やかし過ぎている
- 本人が甘えているだけ
- 教室での対応がよくなかった
- 誰も助けてくれない



問題

否認



問題の転嫁



感情の悪循環

誰も自分責めない≠理解する

学校でできる依存症の対応

予防（居場所）

- 対話・コミュニケーション等、人間関係スキルを学ぶ
- 依存状態に陥らないよう「つながり」をつくる
- 学内での居場所をつくる。

保護者との協力

- 本人が登場しない/できない場合が多いため、「困っている」人を対象とする。
- 「対立」しがちな問題であることを理解して、協力体制を意識する。

専門家との連携

- 担任が抱えるのではなく、教職員、SC、SSWとの連携を意識する。
- 理解のネットワークを広げて、その中での役割を担う。

依存状態に陥りらないような人間関係の予防・啓発を実施する

担任が抱えるのではなく、教職員・保護者・専門家との連携を意識する



理解のネットワークを広げ、学校の役割を担う